

シンガポール・レポート

2012 年 8 月 24 日

日本テクニカルアナリスト協会 評議員
IFTA (国際テクニカルアナリスト連盟)
国際検定テクニカルアナリスト (MFTA)
宮島孝典

私自身がシンガポールに赴任して、まだ 4 ヶ月余りですので、シンガポールについて何も理解できていないと思いますが、現在の印象を述べます。

シンガポールは、マレー半島の先端に位置する淡路島位の面積の小国ですが、一人当たりの GDP は、日本を上回るなど、急速に発展を遂げている東南アジアのリーダー国です。また、人を貴重な資源を位置づける政策は、世界屈指の教育環境を整えているそうです。犯罪率は世界でもトップクラスの低さで、街を歩いても警察官を見ることが少なく治安の良さを感じます。シンガポールには日本語が話せる医師がいる病院もあり、英語があまり得意でない方でも安心です。

時差は、日本より 1 時間遅れです。気候は、高温多湿の常夏の国です。季節は、あまりはっきりとはしませんが、雨季と乾季の 2 つに分かれています。1 年の平均気温は 27 度程度ですが、最も日差しの強いといわれる 6~8 月も、日本の真夏のようなジリジリとした感じはありません。紫外線は強そうです。湿度が高く、蒸し暑いイメージがありますが、季節風のお蔭で快適に過ごせます。

服装は、いつも日本の夏服で良く、基本的にはカジュアルな服装でどこでも大丈夫です。衣料費は節約できます。ただ、ショッピングセンターやレストランなどの屋内に入ると、エアコンが強烈に効いています。自身もシンガポールに来て、汗をかいた後に入って、温度差で体調を崩しました。1 枚長袖の服を持ち歩くのが無難です。

現地物価は、日本よりやや安いという印象です。衣食については、アメリカ、ヨーロッパ、中国、インド、日本など、世界中のものが揃っています。まさに、多民族が調和をもって生活をしている印象です。(食べ物は、日本産は高いです。概ね 1.5~2 倍程度)

交通手段は、地下鉄とバスが充実しており、安く簡単に移動できます。

シンガポールといえば、税制メリットが大きいとよく言われますが、①法人税では、税率が 17%とアジアでは香港と並ぶ税率の低さで、キャピタルゲイン課税はないとのことです。②個人税では、所得税が最高税率 20% (日本は 40%以上)、.資産運用益に対しての課税なし、.地方税もないとのことです。また、相続税、贈与税がありません。

短い期間ですが、シンガポールに来て一番感じることは、現地の人たちの日本人に対する印象がとても良くて、親切にされる場面が多いということです。これまで日本人がアジアに築いてきた信頼感、ブランドを改めて認識させられました。同時に、日本人はそれに応える責任があるとも感じました。また、資源の希少な国が、世界中から優良な資源を集めて、比較的自由に活動させて、国の経済発展につなげるという成功例は、日本の再生にとっても大きなヒントになると思われます。

なお、シンガポールの通貨単位は「シンガポール・ドル」で、1S\$=63 円程度（2012/8 現在）です。



1. シンガポール全般情報

- ・ シンガポールとはライオンの町という意味
- ・ 1965 年イギリス・マレーシアから独立（イギリス連邦国家のメンバー）
- ・ 人口 480 万人
- ・ 面積 約 700 平方キロメートル（淡路島とほぼ同面積）
- ・ 63 の島からなる
- ・ 国会議員は約 90 人（大半が与党・人民行動党）小選挙区と中選挙区の混合
- ・ 軍事費は国家歳出の 23% で最大の支出（2 位は教育費 20%）
- ・ 徴兵制 成人男子の兵役 2 年
- ・ GDP 2200 億 US ドル（約 17 兆円 2011）

2. 気候

- ・ 熱帯雨林気候
- ・ 雨季（11 月～1 月）と乾季
- ・ 気温は 25 から 33 度
- ・ 湿度高い
- ・ 強いスコールが 1 時間ほど降るケースが多い（折り畳み傘は必需品）
- ・ 紫外線強い（赤道直下）
- ・ 熱帯なので、厳しい暑さをイメージするが、日本の真夏よりは過ごしやすいと思われる。

3. 人口と移民・言語・教育

- ・ 全人口 480 万人
- ・ 多民族で構成
民族比率
[華人系] 76.2%（2,621,000 人）
[マレー系] 13.8%（473,600 人）
[インド系] 8.3%（283,800 人）
[その他] 1.7%（58,800 人）
- ・ 公用語は英語、中国語、マレー語、タミル語
- ・ 教育制度

シンガポールにとって「人材」は最大で唯一の「資源」であるため、政府は、国の将来を担う有能な人材を積極的に発掘・育成する学校教育に大きな力を注いでいる。それは、教育費が歳出の 20% 強を占め、国防費に次ぐ規模となっていることにも現れている。

授業は公用語のひとつである英語でなされる。しかし、シンガポールは華人系、マレー系、インド系及びその他の複数民族とで構成されている多民族国家であることから、それぞれの民族の文化的な背景・アイデンティティを尊重するため、英語と同時にその母語を初等学校 1 年生から学ばせている。

- ・ 外国人居住者人口は 100 万以上（外人としての移民に参政権はない）

- ・ シンガポールへの正式な移民は高学歴・高度技術保有の富裕層が多い
- ・ 良質な移民受け入れを積極化
- ・ シンガポールの出生率は日本並みに低い 1.3%程度
- ・ 出生率が低い理由は、女性の晩婚化および既婚女性の減少、国家および民間による人口統制政策の影響など
- ・ 外国金融機関の進出により外人多い
- ・ 富裕層の殆どは家政婦、運転手、警備員などを雇用する
- ・ 世界各国の優秀な人材を求める
- ・ 税制の相違による有利さで富裕層があつまる
- ・ 日本の富裕層にも積極的に移民勧誘

4. 財政

- ・ 1990年代から経済成長が加速し、税収が伸びる
- ・ 工業化に注力し、外資導入に成功して税収が伸びる
- ・ 歳入が歳出を常に上回る
- ・ 観光収入も入大きい
- ・ 政府系企業収入大きい
- ・ 公的機関の投資業務大きい

5. 税制

- ・ 簡素な税制
- ・ 法人税、所得税、消費税、固定資産税の国税のみ
- ・ 個人に係る所得税は所得税の最高税率は 20%
- ・ 消費税は 7%、ホテル、レストランなどのサービス税は 17%
- ・ 投資に関する税金がない（資産運用益は、銀行、証券会社、ファンド運営会社など金融機関を通じて得た運用益であれば非課税）
- ・ 相続税なし（相続人・被相続人が居住者であることが条件）

6. 軍事

- ・ 政府支出の中で尤も大きな支出は防衛軍事費
- ・ 国家歳出予算の 23%が軍事費
- ・ 高度な軍事力 陸海空軍の総人員 7.3 万人

7. 政府・公務

- ・ 戦後英国領からマレーシアに返還（1956年にマレーシアから独立）
- ・ リー・クアン・ユーが実質建国の父
- ・ 国家のトップ官僚たちは高度エリート教育を受けた俊才
- ・ 政府要人・高級公務員の給与待遇は高い

- ・ 優秀な人材を官吏や政治家に登用する仕組み
- ・ 政府主導で大型開発プロジェクト推進
- ・ 観光産業の誘致に注力
- ・ カジノ誘致【2010 年】に成功
- ・ 海外から製造業の誘致も強力に推進

8. ファンド投資業務

- ・ ヘッジファンド運営会社は多い
- ・ シンガポールに拠点を置くヘッジファンドは、投資戦略が他国に比べて多彩、また、株式系のファンドが多いことも特徴（株式ロング・ショート、マルチストラテジー、CTA、イベント・ドリブン、マクロなど）
- ・ 中国、韓国、台湾をはじめとし、豪州、インドなどアジア地域全般への投資比率が高い
- ・ アジア全域をカバーする欧米金融機関のアジア拠点が運用主体
- ・ 金融市場の効率性・流動性は極めて高い、プロ向けの市場
- ・ NY, LDN, 香港について金融市場規模で 4 番目
- ・ 国内代表企業： シンガポールエアライン、DBS、UOB など金融機関

9. 不動産業

- ・ 大規模ショッピングセンターが多い
- ・ 高島屋シンガポールは最大級のショッピングセンター（日本国内高島屋全店舗の営業利益の約半分をシンガポール 1 店舗で実現）
- ・ 日本橋高島屋の 4 倍以上の大きさ
- ・ 高さ制限一杯の 50 階から 70 階くらいの建物が多い
- ・ 政府による海の埋め立てによる土地造成
- ・ 造成地不動産の民間への分譲

10. 観光産業

- ・ 国家主導で観光産業に注力
- ・ 実質的に国家主導の植物園、動物園、水族館その他の施設
- ・ 外国人優遇の仕組み（カジノ入場料：外人は無料、シンガポール人は 100 S ドル）
- ・ カジノ産業の売上は、2012 年にラスベガスを抜く見通し（マカオに次ぎ世界 2 位に）
- ・ カジノの拠点は二つ（セントーサ、マリナベイ）
- ・ カジノの規模は巨大
- ・ カジノは超高級ホテル、遊園地、ユニバーサルスタジオなどに近接して作られる
- ・ 世界の一流ブティック、ホテル、レストラン、ファッションの大半が進出
- ・ アジアの富裕層の移住に照準

1 1. 街並み・地下街

- ・ 基本的に街路樹が植えてある
- ・ 公園が多い
- ・ 市内の道路が広い（概ね日本の 1.5 倍くらい）
- ・ 木陰に小さいベンチのあるところが多い
- ・ 信号機のある大きな交差点にゴミ箱がおいてある
- ・ 店や会社の下品で大きな看板がない、シンプルで小さい看板のみ
- ・ 全ての道路が命名されている（英国方式の町）
- ・ ゴミが殆ど落ちてない、ゴミ箱のごみを集めてまわる会社があるのだろうと推測
- ・ 継続的に海を埋め立てている
- ・ 政府がその埋立地を民間に売る
- ・ 地下街は広く深く明るく、地下 3 階まである
- ・ 地下の 1 軒あたりレストラン、ショップの面積は広い
- ・ 地下街の天井が高い
- ・ 地下街全体の冷房が完備
- ・ 世界中の高級ブランド店がほとんど揃っている

1 2. 交通手段

- ・ 地下鉄は広くて美しく時間通りの運行
- ・ 下品な週刊誌の広告などが全く無い
- ・ 地下が広く深い
- ・ エスカレーター・エレベーターが完璧に配備される
- ・ 無用な音声案内がない
- ・ バスと地下鉄共通のチケット
- ・ タクシーは路上では止められない。タクシー乗り場でのる
- ・ タクシー最低金額は 180 円程度（市内の移動なら S\$8～12 で概ね足りる）
- ・ バスと地下鉄両方が乗れる 1 日、3 日、5 日のプリペイドカードあり
1 日あたり 600 円程度（5 日で 3000 円）

1 3. 道徳と規制

- ・ ゴミ捨て禁止、ガム禁止、電車内禁煙、電車内飲食禁止
- ・ 約束時間に厳しい（日本と同様）
- ・ 低俗な雑誌など禁止
- ・ 極めて厳しい罰則（死刑制度あり）

1 4. 食事・レストラン

- ・ 殆どの国のレストランあり。
- ・ 中華料理、インド系料理は多彩

- ・ 日本食レストラン、チェーンも多く出店（ただし、料金は日本の 1.5 倍位）
- ・ 政府がノーチップを奨励しているため、チップの習慣は基本的になし

1 5. ホテル

- ・ ヨーロッパスタイルのホテル多い
- ・ 西洋文化の歴史深い
- ・ 高級家具装備
- ・ 部屋は大きく広い
- ・ テレビ、ラジオ、ビデオなどは旧式のヨーロッパ製が多い
- ・ シャワー、ドライヤーはシンプル
- ・ 水道、トイレットなど旧式（ウォッシュレットなし）

1 6. 影響国

- ・ 歴史的にマレーシアの一部であったため影響大きい、敵対することもあり
- ・ 法律体系はイギリス法のもの
- ・ 軍事施設設備はアメリカ製が多い
- ・ 過去は自動車、家電製品で日本製が多かったそうだが、現在はシェアを落としている様子
- ・ 近年最も売れる車種は韓国車
- ・ 富裕層は殆どドイツ車を買う（今も BMW とベンツが最も売れる）
- ・ 自動車ライセンスだけで 7S 万ドル、10 年で償却

以上